

第1回神田警察通り周辺まちづくり検討部会 議事要旨

■日時：令和元年11月14日（木）14：30～16：30

■会場：千代田区役所8階第1委員会室

■出席者：

〔委員〕

●●部会長、●●委員、●●委員、●●委員

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

大森委員（まちづくり担当部長）、印出井委員（景観・都市計画課長）

谷田部委員（道路公園課長）、須貝委員（基盤整備計画担当課長）

神原委員（神田地域まちづくり担当課長）

〔委員代理〕

●●氏（●●委員代理）

〔事務局〕

佐藤地域まちづくり課長、地域まちづくり課、UR都市機構

1. 開会

○事務局より資料確認

2. 委員紹介

○事務局より委員紹介

3. 部会長の選任について

○設置要綱第5条に基づき、委員の互選により●●委員を部会長に選任

4. まちづくり検討部会について

○まちづくり検討部会の設置について事務局より説明

- ・神田警察通り沿道整備推進協議会等におけるこれまでの検討経緯について
- ・まちづくり検討部会における検討スケジュール（案）について

5. 神田警察通り周辺の現状・課題について

○神田警察通り周辺地域の現状について事務局より説明

- ・歴史・まちの成り立ち、土地利用・建物利用、道路、みどり・公園・川、

人口・世帯数、事業所・従業員数、建物利用（事務所）・賃料

○地域の魅力や地域のこれからを考える視点について事務局より説明

- ・神田と周辺エリアの状況
- ・神田らしさ、地域の現状まとめ、地域の「これから」を考える視点

<意見交換>

【委員】

- ・土地・建物利用図について補足したい。図には表れていないが、1階に事務所ないし商売、最上階に住んで、その間の空間は貸す、というのが神田の典型的スタイルである。
- ・内神田一丁目で事務所・従業員数が減っていることについて、オフィスビルがマンションになっていることもあるが、他にも、駐車場になったり、ホテルになっているところもある。単に事務所が減って、従業員数が減っているということではない。

【景観・都市計画課長】

- ・土地・建物利用図は東京都が5年に1回実施している土地建物現況調査からのデータである。住居としてオレンジ色に着色されているものは、一定規模以上の要件を満たしたものとなってしまうため、現実的に地域の人々の感覚とどこに違いがあるかという観点で、こういった場で細かく検討していく必要がある。

【委員】

- ・神田駅西口地区でも、大規模な機能更新が検討されている。細い道路を集約して広場や空地をつくるという構想になっている。周辺の日本橋地区でも機能更新が進んでいるが、再開発で機能更新という話もあると思う。

【事務局】

- ・機能更新して、単に広場を整備して建物を建てるだけだと、ここが神田なのかわからなくなってしまう。路地の趣や風情、あるいは祭礼文化に象徴されるような人と人とのつながりというものを感じられるような作りこみなども、機能更新のなかで併せて考えていただきたいと考える。

【委員】

- ・マンション住民の増加により人口は増えているが、マンションを所有して住んでいる方や貸している方、借りて住んでいる方など様々な人がいる。たまたま賃貸で借りている人と所有している人では、まちに対する意識は違う。そのあたりがわかると、もう少し全体像が見えてくるのではないかと。
- ・賃貸住民で住民票を移していない人も加えると人口は8万を超えているのではないかと。短い居住期間の人の意見も聞くべきかどうか。神田全体で世帯は増えているが、●●の町会長はマンションが怖くてなかなか町会のお知らせを

投函できないと言っていた。そういうマンションが増えていいのかどうか。神田の将来像として町会が根本にあるときに、古くから住んでいる人も新しい人も交流ができて、お互いが認知できる状態をつくっていくことがベストなまちづくりだと思う。短いスパンで住んでいる方の存在を把握した方がよい。

【部会長】

- ・神田の住民とは誰なのか、どこまでか。どういう人たちがこのまちに関わり、交流していくのかを考えることが、どういうまちにするかにつながっていくところかと思う。居住実態は大事な論点として議論していくべき。

【景観・都市計画課長】

- ・都市計画マスタープラン改定の検討をしているが、そこでも住み方の多様性がキーワードとなっている。年間分の家賃を払い、どこに住んでもいいというサービスも出てきている。そういう人も受け入れるか、長く住む人を確保するスタンスをとるのか、今後のまちづくりの大きな課題である。

【委員】

- ・これからを考える視点で、「長く住み続けられる」とあるが、住んでいるといっても夜寝に帰るだけの可能性もある人もいれば、文字どおり住んでいる方もいる。以前行った社会実験の際にも、まちづくりに関わりたいという人もいて、最近まちづくりのキーワードの中で関係人口、交流人口が話題になっている。交流といっているものをどうしていくか。
- ・地域防災の話の中で、事業所は72時間避難できない。住んでいる方のみ退避する形になっている。昼間人口が多く、旧耐震建物もある神田では、災害時に留まれと言われても難しい。災害時の避難民の問題は大きな課題。コミュニティ、町会など様々あるが、組織の問題か運営の仕方の問題か、今までと違うやり方で取り込む必要がある。

【部会長】

- ・まず、地域の現状や課題、いいところを整理し、次にどういうまちにしていきたいのか、ここに関わる人がどう行動すればうまくいくのか、そしてそれに対応する空間、まちの在り方をどうするか、の3段階がある。1・2回目は現状や課題の整理、その後はそういった段階に進んでいければと思う。

【委員】

- ・先日の台風19号の際、避難所の開設に携わった。古くから住んでいる町会関係者が避難所を開設している状況である。土日の災害対策に関われる人を多くしないといけない。防災に関するコミュニティを考えなくてはならない。

【部会長】

- ・今回の台風は、3.11に匹敵するほど価値観を大きく変える転機だった。様々な方が活動している中で、災害時の横連携が難しいことがわかった。防災とい

う意味でも、神田の住民はどういった方かを議論し、そういった方が動きやすくなるようにしていくことを議論していくべき。

【事務局】

- ・ これまでは、災害対策のベースが地震対策になっている。台風 19 号によってさまざまな課題が認識され、全体的な見直しを図っている。住んでいる方や企業の方とも連携しながら検討していきたい。

【委員】

- ・ 交通の問題も重要であると考え。例えば、大丸有の開発の影響、沿道のパーキングなどの問題もある。来街者が駅をどのように使うのか、他にどういった交通手段を使うのかなど、人の動きのデータがまだ少ない。そういった点をもう少し分析したらどうか。

【景観・都市計画課長】

- ・ 駐車場の在り方は、低層部の在り方も含めて地域の課題と認識されている。内神田一丁目で配置計画の検討をしている。その中で内神田一丁目に関しては、大丸有の影響や動きなどデータでまとめている部分があるので、今後情報共有していきたい。

【委員】

- ・ 現況の交通に関する分析が不足している。国土交通省が周辺との移動の状況（手段・目的等）を公開しているので、まず把握してはどうか。整備構想での内側からの活力と外側から人を呼びこむという将来イメージがあるが、現状でのゾーンの内外側の活動や移動の状況も把握できるかもしれない。
- ・ 近年、全国的に若い男性が外出しない傾向が見られる。閉じこもっているような人の活動を引き出す楽しい仕掛けの視点も大事である。

【委員】

- ・ これからの神田には、地元を愛する方や町会を思う方が必要であると考え。

【委員】

- ・ 神田警察通りについては、車いす利用者の思いも聞いているので、車いすの方が安心して通れる道として、また街路樹については落葉のことも考慮して、早期に整備してほしい。

【委員】

- ・ 私が住んでいるところはオフィス街の一角。住民は少ない。長く住み続けられるまちと賑わいがあるまちは、ある面では相反することもある。千代田区は賑わいの方向性をどう考えているか。他委員からも秋葉原の賑わいとは違うのではないかという話もあった。

【事務局】

- ・この部会で皆様と将来像を話しながらかつづくついでこうとしている。区側で一方的に作るものではないと考える。
- ・賑わいの部分でいうと、神田はポテンシャルが高いと考えている。

【委員】

- ・新旧の住民がうまく連携できるのか、根本的な問題がある。旧住民は商売しながらそこに住んでいるか、近くに住んでいる方が多い。また、住んではいないが商売をやっている方、事務所をもって仕事をしている方、店を長く賃貸で営んでいる方のほうが町会に加入されている。この方達が地元意識も強く、神田らしさをつくり上げ、守っている。
- ・大規模で良い再開発であればよいが、中途半端な開発では神田らしさを失う。本当に良い再開発でしか神田らしさを残せない。神田らしさを分析してどうやって残すかが重要と考える。起業家が住む、または大丸有で働いている人が住むなど、職住近接の形が目指す姿かと考える。

【部会長】

- ・良い再開発、良い空間更新がどうやればできるのかを議論し、発信していくことが重要な論点であると考えている。

【委員】

- ・神田に関わる住民をどう考えるのか。これからはマンション住民の方、働いている方も含めて取り組んでいかないと維持できない。神田らしい再開発やまちづくりをこれから構想していく上で、そういった方からも意見を吸い上げていくべき。今後、町会の中でも議論していきたい。

【部会長】

- ・一昨年度の神田警察通りの沿道社会実験もそういう趣旨だった。こうしたことを外の人たちにどう広げていくかもこの会の中で議論していきたい。

【委員】

- ・神田警察通りの整備については、モデルケースを示してもらえるとイメージがしやすい。今後は、実践的な事例も聞きたい。

【委員】

- ・UR都市機構の社会実験でヤングール事務所の方から講義を受け、「神田はヒューマンスケールのまちが似合っている」というのは非常に参考になった。この部会でも、様々な具体的な先進事例を紹介いただきたい。

【委員】

- ・神田は範囲が広いので、いくつか分けての検討もあるのではないかと。千代田区では地区計画のエリアごとにまちづくりを誘導してきた経緯がある。そのあたりの検証をするとヒントになるのではないかと。

- ・神田のまちの特徴の1つは、道路が密にあること。道路にルーツがあるところもある。歴史的な成り立ちの視点も必要ではないかと考える。

6. その他

- 神田のまちづくりに関連したイベントについて神田地域まちづくり担当課長より紹介

- 次回の案内

【事務局】

- ・次回の開催については、来年1月下旬から2月上旬を予定。